遥　香

黄金色の稲穂が頭を垂れる時
自然界は
実りの季節を迎えるんだ

生きもの達は皆
この季節の恩恵をもらい
次に繋がる命をつくる

きみはどうだい？

アスファルトに立ち
実りの季節を感じてるかい？
自然界の恩恵を
体中にうけてるかい？

きみが当たり前のように
一年中食べてるものには

本当は…
生きるべき季節があり

自然界に生きるものには
それを感じ取る力があるんだ

きみの生活が成長とともに
自然界から遠ざかっても

遙か彼方から繰り返し訪れる
季節の香りは

きみの心に宿り

生きるべき季節に
生まれた恩恵は
きみの身に宿り
次に繋がる命を紡いでく